

事業所名

児童発達支援センターわかくさ
放課後等デイサービスポプラ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		もっとも困難な立場に立たされている方に眼差しを向け、寄り添うことを基本とします 利用児への支援と共に、子育て支援も行い、自分らしく人生を生きるたくましさを育てます 周りの仲間や大人に受け入れられていることを実感し、周りを信頼し、その信頼を自分の力にしていきます（セルフエスティーム） 周りの仲間と共に生き、共に遊び、共に学びあう感性を育てます（エンパワメント）						
支援方針		障がいの有無に関わらず、その年齢の子が当たり前になりたいと思うことを子どもたちで実現していきます 様々な活動を通しての仲間づくりを大切にします						
営業時間		9時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校や自宅からの引継ぎを受け、利用児童の健康状態を把握し、保護者の方へ活動後の申し送りをしっかりしていきます 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、排泄等、基本的な生活習慣を獲得できるよう支援します 年間を通して食育活動を実施します(キャンプに向けての調理活動、栽培活動、クッキング、食事のマナー講座等) 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、公園等で身体を使った遊び、事業所内では指先を使った制作活動等を実施します 姿勢・運動・動作の基本的技能の向上を図ります 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 日々のスケジュールや活動内容を、写真やイラスト等を使用して一人ひとりが分かりやすいよう工夫します 外出活動では、行き方、行き先での活動等を職員と一緒に自分たちで調べ、役割分担をして活動を運営していきます トランプやボードゲーム等を取り入れ、認知能力の向上を図ります 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション手段を状況に応じて適切に選択・活用できるよう支援していきます 様々なやり取りの中で、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えるよう、言語や、表情、絵カード等で気持ちを表出する支援を行います 活動では、自身の気持ちを伝えていいという雰囲気づくり、聞いてもらえる仲間との関係性を大切にします 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ポプラの大切な一員として、様々な活動で一人ひとりが自身の役割を担い、この仲間との信頼関係を築いていきます 様々な活動を通して、社会のマナーやルールを伝えていきます 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談に対する適切な助言をしていきます 保護者会を開催し、横の繋がりを持ってもらえるような機会をつくれます 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 本人、ご家族、学校、相談支援等、関わる事業所等で連携を図り、必要に応じて同行する等、移行の準備を一緒に行います 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校や医療機関等と連携を図り、情報共有をし支援の方向性を確認します 地域清掃の実施や地域の行事に積極的に参加し、地域の一員であることを知っていきます 自立支援協議会(こども部会)に参加し、地域の他事業所との情報交換や交流の場を設けます 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内研修、外部講師による研修の実施、外部研修への参加 他事業所との交流会実施 自立支援協議会(こども部会)、大阪市障がい児者施設連絡協議会への参加 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用したの外出活動(月1回程度) 事業所内児童発達支援の利用児さんを招待しての祭り キャンプ(一泊) 法人内事業所間交流 わかくさ展(作品展) 卒業式(卒業生を送り出します) 食育活動(クッキング、マナー講座等) 避難訓練(月1回) 誕生会 クリスマス会 ハロウィンパーティー 節分 七夕 						